

とちゅうがき（後書きに辿り着けていないのです）

いつもお世話になつております。

喫茶綴のおにさくらです。

今回もまた、お久しぶりです。

本作、「交じる、果てる、墮ちる」を
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
夏コミ以来の新作となります。

そしてこちらは、

同年の冬コミでリリースした作品となります。
⋮⋮その、予定です。

というのも、今現在も製作中です。

今は12月28日の

午前4時半くらいの時刻になります。

昨夜、無事（と言つて良いのかなんとも？）に
仕事を納め、そのまま職場近くの
ビジネスホテルに泊まり、
効果音の収録作業中です。

自宅でやれば良いのでは（？）
という工程ではあるのですが、
少しでも夜間の時間を稼ぎたいという理由での
苦肉の策でした。

職場から自宅までの距離が割と遠い事と、
日中になると自宅の周りは意外と騒音があつて、
効果音の収録に向かない環境なものでして。
閑散とした田舎住まいではあるはずなんですが、
どうして意外とノイズが多いんでしょう……？

さて、前回も触れたのですが、
毎回、この「後書き的な何か」は、
イベント当日や前日に書いている状況でした。
そして現在は28日ということなので、
今回はなんと、イベントの「2日前」に、
この文章を書いています。

……書いてはいるのですが、
肝心の作品が完成していません。

だから冒頭部が、「後書き」ではなくて、
「とちゅうがき」という表現で始まっています。

うーん、毎回、スケジュール管理が杜撰すぎる。

ところで、前回の後書きを読み返しながら、
今この文章を書いているのですが、
どうも前回も作品完成前に、
後書きを書いていたようです。

おにさくらよ、それは後書きではない。

過去の自分にそう伝えてあげたいです。
あと、前回の後書きに、
以下のような文章も書かれていました。

「すぐにあれもこれもと、
色々なことに手を出してしまう結果、
こうなつていることが多いので、
私におかれましては、そろそろ学習してください、
と言いたいところです」

はい、今回も変わつていません。
お変わりなく、私は私でした。

「成長しないな、私」

と、意味深げに呟いておきます。

もちろん、深い意味は何もありません。

浅いです。

さて、相変わらず前置きが長いので、本題に。

今作は「交じる、果てる、墮ちる」という作品名です。

私のサークル史上では、もつとも文字数が多い作品名なのでは？？

と思つて確認してみたところ、その通りでした。そもそも私の好みとして、

作品名（タイトル）は短ければ短いほど良い、くらいに考えている節があるので、タイトルが短くなりがちです。

これまでの作品名でいれば、「秘密」や「蠱惑」は2文字ですし。

最長のものでも、

「夢でもいマシヨウ？」の9文字でした。

今回は読点も含めれば11文字ですでの、過去最長タイトルです。

記録更新しました！

⋮ 空虚だ。

内容としては、これまでと全く違った系統のものなのではないかなと。

そもそも、主人公（貴方）がショタです。ショタおねの音声作品になっています。

音声作品なので、聞き手の立場に立つと、本当はその辺りはぽかした方が良いのかな、という思いもあつたのですが⋮⋮。

作りたくなつてしまつたので、仕方ないです。

というわけで、

聴いていただいた貴方もショタです。ショタの心を持ってください。

それから、前作「カクシゴト」にも増して、
プレイ傾向が過激めになっていると思います。

こういった作風のものも好きなのですが、
これまで出せていないくて、

今回、思い切って作ってみた次第です。

一昔前（？）の美少女ゲーム

（という括りでいいのだろうか？）の

凌辱系ゲームのニュアンスが

近いのではないかなど個人的には思っています。

個人的には、もっともと、
シヨタつぽさを出した演出をしたかったのですが、
その辺り、聞いていただいてどう感じたか
教えていただければ幸いです。

手探りの状態で創作したので
戦々恐々とはしていますが、
好きなものは作れたので、今後、
この路線のものもいくつか作っていきたいなと
考えています。

ところで、私は本作において、
本来は、もっと調教する過程を
描きたい状況ではあったのですが、
悔しい事に、台本にするには文字数が多すぎる、
といった感じの状況でした。

某証明が困難とされていた定理みたいな
書き方をしてみましたが、
無能さが浮き彫りになつてているだけでした。

前作、「カクシゴト」の後書きでは、
前作を「純愛（？）」と仮定しました。

では本作はどうだろう、と考えたのですが、
個人的には「インモラル」で、
「メリーバッドエンド」と仮定する事になるかなと。

最終的にはなん感じになつてるので、
あなたと梓の二人にとつては、
ハッピーエンドですよね?????

もしも本作に求めていたものが、最後まで心折れずに抵抗し、ただただ尊厳を踏み躡られ続ける、といったような形だった場合には、そうではないかもしないのですががが。

その場合は、ジャンルどうなるんだろ？

「インモラル」で「バッドエンド」かな？

ショタおね作品で、「インモラル」で、「バッドエンド」も書いてみたいような、ちょっと怖いような……？

そもそも、ショタおね、自分がインモラルですね。個人的には、おねショタ、

よりもインモラル度合いが強くなるイメージです。

※おねショタがどうこういう話ではなくて、あくまで私のイメージとしての話です。あしからず。

どういった形になるのかは未定ですが、

ショタおね、個人的には気になるジャンルなので、この路線もまたやりたいです。

毎回似たようなことを言っていますが、
楽しんでもらえることが何よりです。

どこか好きなポイントがあつて、
その点を好き好きに楽しんでもらえたのであれば、
私はとても嬉しいです。

以下は定型分と化していますが、
ご感想などあれば、
是非是非、教えてくださいませ。

販売サイト様のレビューや一言コメントも
嬉しいですし、SNSで書いていただくとか
直接言つていただくとか、
メールで書いていただくとか。

どの形でも嬉しいです。
どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今作ですが、
声を「木多野あり様」に、
イラストを「かんぜう様」に、
それぞれお願ひ致しました。

お二人とも、
私からは初めてのご依頼になります。

木多野様はフリートークでも仰られていましたが、
「美少女ゲーム」に多く出演されている方の
印象があります。

今回ご縁があつてご依頼できる運びと
相なつたわけですが、
まさかご依頼できるとは思つていなくて、
とても嬉しかったのが記憶に新しいです。
作品を聴いていただければすぐにわかりますが、
優しいお姉ちゃんとした演技から、
非常にハードな（それこそ凌辱的な仕打ちな）
演技までを、振り幅大きく、
素晴らしい演技をしていただきました。

こうしてご縁に恵まれてご出演いただけた事に、
ただただ感謝する次第です。

木多野様、本作をご収録いただき、
誠にありがとうございました！
この場を借りてお礼申し上げます。

ところで、前回の後書きでヒロインの一人称に触れているのですが、

前々回の一人称は

「俺（一部トラックでは、「う」ち）」、

前回は「僕」ときて、

今回は

「私（わたくし。ごく稀に「わたし」）」です。

次回はどうなるのか、というと、

次回は私（わたし）です。

余談でした。

イラストは、

かんぜう様に描いていただきました。

ツイッター（※）で偶然、

イラストを拝見する機会があつて、

そこで一目惚れしました。

すぐには資料をまとめて、

ご依頼したような感じでした。

※現在のX。かんぜう様のイラストを

初めてみた当時もすでにXだった気もします。

差分も非常に多く書いていただいている。

えつちな下着姿と、

よりえつちな下着姿と、

表情差分だつたり、なんなら全裸差分もあつたり。
購入特典として同梱していきますので、
ぜひぜひ楽しめて下さいませ。

私は音源チェック中も、

台本の横に並べて楽しんでいました。

前回も書いたのですが、

近年、直接的な描写をしてしまうと、
パッケージのイラストにし辛いです。
Xでは規制を受けるようですし、
販売サイトさまもあまり直接的な描写は
避けて欲しい旨、記載されています。

でもえつちなイラストは見たいので、
差分が増えていく……。

そもそも私が色々なバリエーションを見たくて、
差分が増えていく……。

かんぜう様、

とても魅力的なイラストを、
立ち絵では優雅な雰囲気に、
パッケージ（ジャケット）絵では
淫美な雰囲気に描いていただき、
誠にありがとうございました！

作品を聴いて下さるみなさまも、
いつもありがとうございます。

依然として、

「作品のジャンルになかなか統一感がない」
状況ですが、お手に取つていただけて嬉しいです。
その事実を励みに、次作以降も、
楽しんで、制作してまいります。

やはりというべきか、

今回も長い後書きになっています。

今回、冬コミ当日からみて、
2日前に書いているので、
時間があるようにはみえるのですが、
事実としては、

まだ作品が完成していないので
自分の首を絞め続けている、
といった状況です。

この後書を書く時間を制作時間にあてるか、
睡眠時間にあてた方が良いのではないか
とも思います。

でも、こういう取り止めもない文章が好きなので、
ついつい、書いてしまいます。

さて、今回もいい加減、締めます。

最後に、恒例としつつある、
次回作以降のお話です。

進捗が良いか悪いかと言えば、
私の場合は大抵悪いのですが、
なんと今回、現時点ですでに台本が完成して、
収録も終わっている作品があります。

そしてなんと、とても久しぶりの、
全年齢向け作品です。

ただこちら、

効果音の収録にめちゃくちゃ苦慮していく、
その関係で、リリースの目標は
2025年8月にしています。
つまり、夏コミ向け作品です。

作品の内容的には、

時期としてとても良いはず！

それから、一本の台本を執筆中です。
こちらは、成人向けのものです。
作風的には、これまでリリースしている
喫茶綴なティストの音声作品じゃあないかなあと。
できればこちらも、

夏コミに出せるようにしたいなと画策中です。
その後も3本くらい、構想はあるのですが、
リリース順序がなんとも言い切れない状況です。

どうか次回作にも、
お付き合いいただけましたら幸いです。

さて、良い加減締めます。

この度は、喫茶綴の音声作品、
「交じる、果てる、墮ちる」をご購入いただき、
誠にありがとうございました！

前作以上に、

これまでと違ったティストの作品となりました。
本作の内容の何か一つでも、
「あなたに刺さる」ものがあれば、
とても嬉しいです。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ致します！

と、ここまでを28日に描いていました。
現在、30日の午前5時前です。
お風呂さつと入つて、すぐ出発しないと、
まづいくらいの時間です。
どうしてこうなつた……

詳細は多分次回には続かない！！！（予告風に）。

本当に時間がないので、一旦失礼します。
多分、アップデートで後書きを書き足します。
多分、きっと、おそらく！

2024年12月30日 午前4時55分。
今回は、本当にまずい、遅刻しそう！！！
(575のリズムでどうぞ！！！)

喫茶綴 おにさくら